

- 問1 熊本県の江田船山古墳から出土した鉄刀と、埼玉県の新井山古墳から出土した鉄剣には、いずれも「ワカタケル大王」の名が刻まれていました。この事実から推測される、5世紀ごろの大和政権の勢力範囲に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 大和政権の勢力は、近畿地方とその周辺の非常に狭い範囲に限定されていた。 | 2. 大和政権の勢力は、大陸の影響を強く受けていた九州地方のみに限定されていた。 | 3. 大和政権の勢力は、九州北部から関東地方南部におよぶ広い範囲に広がっていた。 | 4. 大和政権の勢力は、東北地方から九州南部に至る日本列島のほぼ全域を支配していた。 |
|--|--|--|--|
- 問2 古墳時代を象徴する墓の形式で、円形と方形を組み合わせた鍵穴のような独特の形状を特徴とし、大阪府にある日本最大の規模を誇る大仙古墳（伝仁徳天皇陵）にも採用されている名称を答えなさい。 (2025年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-------|----------|-------|
| 1. 前方後円墳 | 2. 円墳 | 3. 前方後方墳 | 4. 方墳 |
|----------|-------|----------|-------|
- 問3 大阪府堺市に位置する、全長約486mにおよぶ日本最大の前方向後円墳の名称として正しいものを、次の中から選びなさい。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|-----------|---------|
| 1. 三内丸山遺跡 | 2. 大仙古墳 | 3. 吉野ヶ里遺跡 | 4. 登呂遺跡 |
|-----------|---------|-----------|---------|
- 問4 4世紀末から5世紀頃、ヤマト王権は大和地方を中心に勢力を拡大しましたが、その過程で地方の有力な豪族に対し、権力の象徴である銅鏡などを与える政策をとりました。この行為の主な目的として、当時の政治状況から考えて最も適切なものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--|-------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 全国の一律な税制を確立するために、度量衡の基準として鏡を配るため | 2. 鉄製の武器を効率的に生産するための最新技術を、各地の豪族に共有するため | 3. 地方豪族に仏教を布教し、大陸の進んだ思想で精神的な統一を図るため | 4. 地方豪族との政治的な結びつきを強め、自身の支配下に置くため |
|-------------------------------------|--|-------------------------------------|----------------------------------|
- 問5 古墳時代の大和政権において、朝鮮半島や中国から渡来した人々（渡来人）が果たした役割や、彼らがもたらした文化的な影響について述べた文として正しいものはどれですか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 狩猟や採集に代わる新しい生活様式として、磨製石器の製作技術を広めた | 2. 稲作を初めて日本に伝え、各地に高床倉庫を持つ集落を形成させた | 3. 銅鐸や銅剣などの青銅器を用いた祭祀を広め、巨大な前方後円墳を築いた | 4. 大和政権で外交や財政管理に従事し、仏教などの新しい文化や技術を伝えた |
|--------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
- 問6 3世紀ごろ、倭の女王である卑弥呼が使いを送った中国の国と、当時その国と勢力を争っていた国の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|---------------|-------------|--------------|
| 1. 魏 ―― 呉・蜀 | 2. 唐 ―― 吐蕃・新羅 | 3. 秦 ―― 楚・斉 | 4. 隋 ―― 陳・北周 |
|-------------|---------------|-------------|--------------|
- 問7 3世紀後半から6世紀にかけて、北は東北地方から南は九州地方まで、日本列島の広範囲にわたって鍵穴のような独特な形をした巨大な墓が築造されました。このような墓が各地に共通して造られた背景として、当時の政治状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 大和地方の人口が急激に増加したため、有力な豪族が新天地を求めて東北や九州へ集団移住した際の住居の跡地である。 | 2. 大陸から渡来した人々が、最新の土木技術を日本各地の民衆に広めるための記念碑として、公共事業の一環で築造した。 | 3. ヤマト王権に従った各地の豪族が、王権との結びつきを周囲に示すとともに、自らの権力を誇示するために築造を認められた。 | 4. 仏教の伝来とともに、日本全国の豪族が共通の宗教儀礼を行うための寺院の土台として、同じ形状で設計された。 |
|---|---|--|--|
- 問8 古墳時代に朝鮮半島から渡来人が渡ってきた時期の文化についての説明として、渡来人が伝えた土器の特徴を表しているものはどれですか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|-----------------------|----------------------|------------------------|
| 1. 表面に縄目の文様がつけられた深鉢形の土器 | 2. 高温で焼かれた、かたくて灰色の須恵器 | 3. 薄手でかたく、赤褐色をした弥生土器 | 4. 低温で焼かれた、あつ手で褐色の縄文土器 |
|-------------------------|-----------------------|----------------------|------------------------|
- 問9 中国の歴史書である『宋書』倭国伝には、5世紀に倭の五王が中国へ使者を送ったことが記されています。この「五王」が朝貢（皇帝への貢ぎ物）を行った相手である、当時の中国の勢力を何と呼びますか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|------|-------|-------|------|
| 1. 隋 | 2. 北朝 | 3. 南朝 | 4. 唐 |
|------|-------|-------|------|
- 問10 ヤマト王権が巨大な前方後円墳を築き、その周囲に武装した人物の像などの埴輪を並べたり、鉄剣に首長の称号を刻んだりした歴史的な背景として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 各地の豪族に対して、王権の強大な軍勢力や政治的な支配力を示すため | 2. 貴族による摂政・関白の政治を安定させるための儀式として行ったため | 3. 仏教を全国に広めるために、寺院の代わりとして巨大な墓を建立したため | 4. 大陸から伝わった稲作の技術を記念し、収穫を祝う祭祀の場とするため |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
- 問11 5世紀ごろの古墳からは、鉄器の材料となる「鉄の延べ板」が数多く出土しており、朝鮮半島から移住してきた人々がもたらした技術の高さがうかがえます。これら渡来人が当時の日本（ヤマト王権）に与えた影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 遣隋使が派遣されたことで、中国の優れた官僚制度がそのまま導入され、即座に律令国家が完成した。 | 2. 仏教が初めて伝来したことにより、それまで行われていた古墳の築造が全国で一斉に禁止され、寺院建築に移行した。 | 3. 平城京を中心に商業が発展し、全国で和同開珎などの貨幣が日常的に使われる経済構造へと変化した。 | 4. 鉄製の工具や農具の普及により、土木技術が向上し、巨大な古墳の造営や大規模な農地の開墾が可能になった。 |
|---|--|---|---|
- 問12 世界文化遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群に含まれ、5世紀頃に築造された日本最大の前方向後円墳として知られる、当時のヤマト政権の強大な勢力を象徴する古墳はどれか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------|----------|----------|---------|
| 1. 大仙古墳（伝仁徳天皇陵） | 2. 高松塚古墳 | 3. 稲荷山古墳 | 4. 箸墓古墳 |
|-----------------|----------|----------|---------|
- 問13 大阪府堺市に位置する大山古墳（仁徳天皇陵）について、その特徴を地形図から読み取った場合の説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 正方形の墳丘が三重の石垣によって囲まれ、その中心部に巨大な石室が露出している。 | 2. 円形の墳丘が等高線によって示され、周囲には濠がなく、標高の高い山地の中に独立して築造されている。 | 3. 長方形の墳丘が二重の濠に囲まれ、周囲に倍塚と呼ばれる小規模な円墳が直線状に並んでいる。 | 4. 円形の後円部と方形の前円部を組み合わせた鍵穴のような形状の墳丘が、三重の濠に囲まれて配置されている。 |
|--|---|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 大和政権の勢力は、九州北部から関東地方南部におよぶ広い範囲に広がっていた。	九州（熊本県）と関東（埼玉県）という、当時の交通手段では非常に遠く離れた2つの地点から同じ大王の名を記した刀剣が出土したことは、大和政権の支配力がその両地域にまで及んでいたことを客観的に証明するものです。一方で、この時代の支配が東北地方にまで及んでいたことを示す証拠は見つかっていないため、範囲の特定には注意が必要です。
問2	答え 1 前方後円墳	古墳時代の3世紀後半から6世紀にかけて、近畿地方を中心に日本各地で築かれた墓の形式です。この形式が全国的に広がったことは、大和政権（ヤマト王権）による政治的な支配や影響力が各地に及んでいたことを示す重要な証拠と考えられています。大阪府の堺市にある大仙古墳は、この形式の代表例であり、世界最大級の墳墓として知られています。
問3	答え 2 大仙古墳	5世紀頃に築造されたこの墳墓は、当時の近畿地方を中心とした勢力のリーダーである「大王（おおきみ）」の墓と考えられています。前方後円墳とは、円形と方形を組み合わせた日本独自の形状を持つ古墳であり、百舌鳥古墳群の中でも最大の規模を誇ります。
問4	答え 4 地方豪族との政治的な結びつきを強め、自身の支配下に置くため	ヤマト王権は、近畿地方を拠点として各地の有力な豪族を従属させることで勢力を広げました。王権から豪族へ銅鏡などの貴重な品を分け与える行為は、王権への服従を誓わせる対価として、その地域での支配権を公式に認めるという意味合いを持っていました。これにより、武力による制圧だけでなく、政治的な主従関係による連合体のような支配体制を築いていきました。
問5	答え 4 大和政権で外交や財政管理に従事し、仏教などの新しい文化や技術を伝えた	朝鮮半島や中国から日本に移り住んだ渡来人は、当時の先進的な知識を持っていたため、大和政権において外交文書の作成や財政の記録・管理といった重要な実務を担いました。彼らを通じて、6世紀の百済からの仏教伝来に代表されるような、大陸の新しい学問、宗教、技術が日本に定着し、国家の仕組みが整えられていきました。
問6	答え 1 魏 ―― 呉・蜀	卑弥呼が使いを送った相手は、中国大陸の北部に位置した「魏」という国です。当時の中国大陸は、北部の魏、南東部の呉、南西部の蜀の三つの勢力が争っており、この複雑な国際情勢の中で、邪馬台国は魏との外交関係を築くことで自国の立場を安定させようとしていました。
問7	答え 3 ヤマト王権に従った各地の豪族が、王権との結びつきを周囲に示すとともに、自らの権力を誇示するために築造を認められた。	前方後円墳という特定の形状が日本各地に広がった事実は、当時のヤマト王権を中心とした政治的な連合が広範囲に及んでいたことを示しています。各地の有力な豪族は、ヤマト王権の支配体制に組み込まれることで、その象徴である前方後円墳を築く許可を得て、自身の支配権を正当化しました。渡来人の技術は築造に関わっていますが、目的は公共事業ではありません。また、古墳は住居ではなく墓であり、仏教伝来以前の文化です。
問8	答え 2 高温で焼かれた、かたくて灰色の須恵器	渡来人は朝鮮半島から新しい技術をもたらしました。その一つとして、窯を用いて高温で焼き上げる、かたくて灰色の須恵器をつくる技術が伝えられました。
問9	答え 3 南朝	当時の中国は、南北に王朝が分かれて対立する「南北朝時代」にありました。倭の五王（讃・珍・済・興・武）は、そのうち南側の「宋」などの王朝、すなわち南朝に使者を送りました。北朝は主に華北を支配していた別の勢力であり、隋や唐はのちに中国を統一した、より新しい時代の王朝です。
問10	答え 1 各地の豪族に対して、王権の強大な軍事力や政治的な支配力を示すため	古墳の巨大化や、武人などをかたどった埴輪の設置、そして「大王」という称号を刻んだ鉄剣を配ることは、ヤマト王権の優れた技術力や軍事的な権威を内外に示す目的がありました。これにより、各地の有力な豪族を自らの支配下に組み込み、連合政権としての基盤を固めていきました。
問11	答え 4 鉄製の工具や農具の普及により、土木技術が向上し、巨大な古墳の造営や大規模な農地の開墾が可能になった。	渡来人が伝えた鉄器の製造技術は、それまでの木製や石製の道具に比べて耐久性と効率を飛躍的に高めました。これにより、大規模な治水工事や開墾が行われて農業生産力が増大し、その経済力を背景に大王（ヤマト王権）を中心とする支配体制の基盤が強化されることにつながりました。
問12	答え 1 大仙古墳（伝仁徳天皇陵）	大阪府にある大仙古墳は、5世紀のヤマト政権の最盛期に築かれた日本最大の古墳です。これほど巨大な墳墓を築造できたことは、当時の政権が朝鮮半島から確保した鉄製工具を用い、大規模な土木作業を指揮できるほどの強大な権力を持っていたことを物語っています。
問13	答え 4 円形の後円部と方形の前方部を組み合わせた鍵穴のような形状の墳丘が、三重の濠に囲まれて配置されている。	古墳時代中期を代表する大山古墳（仁徳天皇陵）は、前方後円墳という日本独自の形式を持つ巨大な古墳です。地形図上では等高線によってその独特な「鍵穴型」が描かれ、さらに墳丘を保護するように三重の濠が巡らされていることが確認できます。また、周囲には「倍塚（ばいづか）」と呼ばれる、被葬者の親族や家臣を葬ったとされる小規模な古墳が点在しているのも、この地域の歴史的景観の大きな特徴です。